

農地法第3条の規定による許可申請書

令和 年 月 日

朝倉市農業委員会会長 殿

<譲渡人>

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

<譲受人>

住所 _____
氏名 _____ 印
電話番号(_____) - _____

下記農地(採草放牧地)について { 所有権
賃借権
使用貸借による権利
その他使用収益権(_____) } を { 設定(期間____年間)
移転 }

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所
譲渡人				
譲受人				

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番		地目		面積 (㎡)	対価、賃料 等の額(円) (10a 当たり の額)	所有者の氏名又は 名称所有者の氏 名又は名称 現所有者の氏名 又は名称(登記簿 と異なる場合)	所有権以外の使用収益権が 設定されている場合	
		登記簿	現況				権利の種 類、内容	権利者の氏 名又は名称
朝倉市								

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

4-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

所有地		農地面積 (㎡)	田(㎡)	畑(㎡)	樹園地(㎡)	採草放牧地
	自作地					
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積(㎡)	理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

所有地以外の土地		農地面積 (㎡)	田(㎡)	畑(㎡)	樹園地(㎡)	採草放牧地
	借入地					
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積(㎡)	理由
			登記簿	現況		
	非耕作地					

4-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑	樹園地	採草放牧地	合計
作付(予定)作物					
権利取得予定 の面積(㎡)					
権利取得後 の面積(㎡)					

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	田植機	コンバイン	SS	
確保しているもの	所有 リース					
導入予定のもの (資金繰りについて)	所有 リース					

(3) 農作業に従事する者

①権利を取得しようとする個人	農作業歴_____年	
②世帯員の労働力(人)	現在:_____人	(農作業経験の状況:農作業歴_____年)
	増員予定:_____人	(農作業経験の状況:農作業歴_____年)
③常時雇用している労働力(人)	現在:_____人	(農作業経験の状況:農作業歴_____年)
	増員予定:_____人	(農作業経験の状況:農作業歴_____年)
④臨時雇用労働力(年間延人数)	現在:_____人	(農作業経験の状況:農作業歴_____年)
	増員予定:_____人	(農作業経験の状況:農作業歴_____年)

(4) 上記①～④の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移動しようとする土地までの平均

・通作距離_____km ・通作時間_____分 ・通作手段(車・その他_____)

5 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

氏 名		年齢	続柄	性別	農業が 主か 従か	農業 従事 日数	認定 農業者 の有無	職業
1				男 女	主 従	日	有 無	
2				男 女	主 従	日	有 無	
3				男 女	主 従	日	有 無	
4				男 女	主 従	日	有 無	
5				男 女	主 従	日	有 無	

	農作業への従事状況												備考
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1													
2													
3													
4													
5													
耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間													

6 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

(譲渡人の事由)

(譲受人の事由)

7 その他の参考事項

別紙(繼紙)

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

[illegible]

(記載要領)

- 1 申請者の氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を自署する場合においては、押印を省略することができます。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款又は寄付行為の写しを添付(独立行政法人及び地方公共団体を除く。)してください。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利の設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付してください。
- 4 記の2の欄だけでは許可を受けようとする土地の所在等を記入できない場合は、別紙(継紙)を使用してください。
- 5 記の3は、権利を設定又は移転しようとする時期、土地の引渡しを受けようとする時期、契約期間等を記載してください。また、水田裏作の目的に供するための権利を設定しようとする場合は、水田裏作として耕作する期間の始期及び終期並びに当該水田の表作及び裏作の作付に係る事業の概要を併せて記載してください。
- 6 記の4-1の(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。以下、同じ。)また、「所有地」欄の「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を、「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。
- 7 記の4-2の(1)作付(予定)作物、作物別の作付面積の権利取得後の合計面積(m^2)の太枠の中は、権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の状況を記載してください。
- 8 記の4-2の(2)の「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。また、導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。
- 9 記の5の農作業への従事状況の欄には、農作業へ常時従事する期間(実績又は見込み)を「←→」で示してください。また、「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。

誓 約 書

今般、末尾物件に対し農地法第3条の規定による許可申請にあたり、下記の条項を忠実に履行することを誓約いたします。

- 1 当農地について、許可後は転売等申請目的に違反する行為は一切いたしません。
- 2 農地の維持管理については万全を期し、荒廃させるようなことは一切いたしません。荒廃地については、取得後速やかに農地として利用できるように復元いたします。
- 3 朝倉市農業振興地域整備計画に基づく土地改良事業及びその他の公共事業が実施される場合は、その事業に参加することに同意します。
- 4 地域の実情に応じた作付を行うこととし、周辺農地へ支障を及ぼさないようにいたします。

令和 年 月 日

朝倉市農業委員会会長 殿

申請人

住所.....

氏名.....印

物 件 の 表 示

朝倉市

字

番

地目

面積

m²

就農計画書(新規就農)

1 今後の収益計画

農業収益計画		主な作付名	作付面積(a)
年次	収益予定額(千円)		
1年目			
2年目			
3年目			

2 その他参考事項(以下の各項目についてお答え下さい。)

(1) 新規就農の動機について

--

(2) 農業経験等について

☐ (有 ・ 無)

☐ 経験内容

--

☐ 現在及び今後の研修 or 技術指導等の受講予定

--